

## 平成 22 年国勢調査 職業等基本集計結果 結果の要約

- 1 15 歳以上就業者 900,116 人について職業大分類別の割合をみると、「生産工程従事者」が 157,787 人 (17.5%) と最も高く、次いで「事務従事者」が 151,180 人 (16.8%)、「専門的・技術的職業従事者」が 127,736 人 (14.2%) などとなっています。

平成 17 年と比べると、「専門的・技術的職業従事者」が 6,623 人 (増減率 5.5%) と最も増加しており、次いで「サービス職業従事者」が 4,509 人 (増減率 4.7%) 増加、「保安職業従事者」が 422 人 (増減率 3.6%) 増加となっている。一方、「生産工程従事者」が 20,999 人 (増減率 $\Delta$ 11.7%) 減少しており、次いで「農林漁業従事者」が 18,255 人 (増減率 $\Delta$ 30.2%) 減少、「販売従事者」が 13,485 人 (増減率 10.6%) 減少となっています。

男女別にみると、男性は、「生産工程従事者」が 15 歳以上男性就業者 506,402 人の 22.4% と最も高く、次いで「販売従事者」が 12.6%、「専門的・技術的職業従事者」が 11.5% などとなっている。女性は、「事務従事者」が 15 歳以上女性就業者 393,714 人の 24.0% と最も高く、次いで「サービス職業従事者」が 18.5%、「専門的・技術的職業従事者」が 17.7% などとなっています。(図 1、第 1 表)

- 2 15 歳以上就業者を年齢階級別にみると、15~19 歳では「サービス職業従事者」、20~34 歳及び 55~64 歳では「生産工程従事者」、35~54 歳では「事務従事者」、65 歳以上では「農林漁業従事者」が最も多くなっています。

男女別にみると、男性は 15~64 歳では「生産工程従事者」、65 歳以上では「農林漁業従事者」が最も多くなっている。女性は 15~24 歳、60~69 歳では「サービス職業従事者」、25~59 歳では「事務従事者」、70 歳以上では「農林漁業従事者」が最も多くなっています。(第 2 表)

- 3 産業大分類と職業大分類を組み合わせた就業者の割合をみると、「製造業」の「生産工程従事者」が 117,248 人 (15 歳以上就業者の 13.03%) と最も多く、次いで「卸売業、小売業」の「販売従事者」が 79,378 人 (同 8.82%)、「医療、福祉」の「専門的・技術的職業従事者」が 55,899 人 (同 6.21%) などとなっています。

男女別にみると、男性は「製造業」の「生産工程従事者」が 83,570 人 (15 歳以上男性就業者の 16.5%) と最も多く、女性は「医療、福祉」の「専門的・技術的職業従事者」が 43,133 人 (同 10.96%) と最も多くなっています。(第 3 表)

- 4 15 歳以上外国人就業者 (9,808 人) について、職業大分類別に見ると、「生産工程従事者」が 4,317 人と最も多く、次いで「サービス職業従事者」が 1,319 人、「専門的・技術的職業従事者」が 837 人などとなっています。(第 4 表)